

船舶事故等調査報告書

平成21年10月29日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009長第63号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年5月8日（金） 11時30分ごろ	
発生場所	福岡県大牟田港沖 大牟田港灯台から真方位322° 2,370m付近 （概位 北緯33° 03.16′ 東経130° 24.25′）	
事故等調査の経過	平成21年5月11日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	モーターボート ^{かつりゅう} 勝柳丸、1.62トン	
船舶番号、船舶所有者等	290-19933福岡、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	船尾外板破口、プロペラシャフト曲損、プロペラ欠損、プロペラシャフト昇降軸曲損	
事故等の経過	本船は、船長ほか1人が乗船し、船首約0.2m、船尾約0.7mの喫水で、福岡県三池港を出港して約10ノットの速力で北進中、平成21年5月8日11時30分ごろ、初島付近の浅瀬に乗り揚げた。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 なし、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮中央期	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、他船が気になり、初島付近に存在する浅瀬に接近する針路で航行したのと考えられる。 船長は、初島付近には浅瀬が存在することを知っていたのと考えられる。
原因	本事故は、本船が、大牟田港沖を北進中、初島付近の浅瀬に接近する針路で航行したため、同浅瀬に乗り揚げたことにより発生したのと考えられる。	